

# 安重根

## 伊藤博文=斬奸状

- 一、一八九五年、人ヲ韓国ニツカワシ、兵ヲ駆リテ皇宮ニ突入セシメ、大韓皇后陛下弑殺ノコト
- 二、一九〇五年、兵力ヲモツテ大韓皇宮ニ突入、皇帝陛下ヲ威脅シテ五條約ヲ勒定(強制)ノコト
- 三、一九〇七年、更ニ兵力ヲ加エテ韓国皇室ニ突入、劔ヲ抜イテ威脅シ、七條約勒定ノコト、後ニ大韓皇帝陛下廢位ノコト
- 四、韓国内山林、川沢、砦山、鉄道、漁業・農商工業スベテ勒奪ノコト
- 五、イワユル第一銀行券ヲ勒用、カツ韓国内地ニ擾行シ、全国ノ財政ヲ枯渴セシコト
- 六、国債一三〇〇萬元、韓国ニ勒負セシコト
- 七、韓国内地ノ学校書冊圧収焼火シ、内外国新聞民人ニ伝ワラザルナドノコト
- 八、韓国内地、アマタノ義士蜂起シ、国權ヲ復サントスルヲモツテ、暴徒ト称シ、アルイハ銃アルイハ絞、殺戮タエズ、甚ダシクハ義士家眷ニ至ルマデ、前後屠戮十余万人ノコト
- 九、韓国青年外国留学禁止ノコト
- 十、イワユル韓国政府大官、五賊七賊ナド一進会ノ輩トトモニ韓人ヲ締結シテ日本ノ保護ヲ受ケント欲スルナドトイウコト
- 十一、一九〇九年、更ニ五條約ヲ勒定セシコト
- 一二、韓国三千里ノ疆土、日本ノ属邦ニナサント宣言ノコト
- 十三、韓国、一九〇五年ヨリ、スベテ安日ナシ。二千万ノ生靈ノ哭キ声ハ天ヲ振ワス。殺戮タエズ、砲声弾雨、今ニ至ルモヤマズ
- 十四、シカルニ伊藤ヒトリ韓国ハ太平無事ノ様ナルヲ以ッテ、上ハ明治帝ヲ欺ムクノコト東洋ノ平和ハ永ク破傷セラレ、幾万万人ノ種、将来イマダ滅亡ヲ免ガレザランコト
- 十五、一八六七年六月、日本ノ明治帝父親弑殺大逆不道ノコトアマタノ罪状、拳ゲルニイトマアラズ、前後ノ所行、カクノゴトク奸猾ニシテ、外ハ列強ニ信義ヲウシナイ、内ハ交誼ヲ邦国ニ絶ツ、マズ日本ヲ亡ボシテ後、東洋全幅ヲ滅セントス、アニ痛嘆セザルベケンヤ。東洋有志青年諸公コレヲ深ク察セヨ

# 伊藤さんの罪状十五箇条

第一回安重根訊問調書・明治 42 年 10 月 30 日

問 其方が平素敵視して居る人は誰か。

答 以前は別に敵視して居る人はありませなんだが、此の頃になりて一人出来ました。

問 それは何人か。

答 伊藤博文さんです。

問 伊藤公爵を何故敵視するか。

答 その敵視するに至りたる原因は多々あります。即ち左の通りあります。

第一、今より十年ばかり伊藤さんの指揮にて韓国王妃を殺害しました。

第二、今より五年前伊藤さんは兵力を以て五カ条の条約を締結せられましたが、それは皆韓国に取りては非常なる不利益の箇条であります。

第三、今より三年前伊藤さんが締結せられました十二カ条の条約は、いずれも韓国に取り軍隊上非常なる不利益の事柄でありました。

第四、伊藤さんは強いて韓国皇帝の廃位を図りました。

第五、韓国の兵隊は伊藤さんのために解散せしめられました。

第六、条約締結につき韓国民が憤り義兵が起こりましたが、その関係上伊藤さんは韓国の良民を多数殺させました。

第七、韓国の政治その他の権利を奪いました。

第八、韓国の学校に用いたる良好なる教科書を伊藤さんの指揮のもとに焼却しました。

第九、韓国人民に新聞の購読を禁じました。

第十、何ら充つべき金なきにもかかわらず、性質の宜しからざる韓国官吏に金を与え、韓国民に何らのことも知らしめずしてついに第一銀行券を発行して居ります。

第十一、韓国民の負担に帰すべき国債二千三百万円を募り、これを韓国民に知らしめずして、その金は官吏間において勝手に分配したりとも聞き、また土地を奪りしためなりとすと聞きました。これ韓国に取りては非常なる不利益のことであります。

第十二、伊藤さんは東洋の平和を攪乱しました。そのわけと申すは即ち、日露戦争当時より東洋平和維持なりと言いつつ、韓皇帝を廃位し、当初の宣言とはことごとく反対の結果を見るに至り、韓国民二千万皆憤慨して居ります。

第十三、韓国の欲せざるにもかかわらず、伊藤さんは韓国保護に名を借り、韓国政府の一部の者と意志を通し、韓国に不利なる施政を致して居ります。

第十四、今を去る四十二年前、現日本皇帝の父君に当たらせられる御方を伊藤さんが失いました。そのことは皆韓国民が知って居ります。

第十五、伊藤さんは韓国民が憤慨して居るにもかかわらず、日本皇帝やその他世界各国に対し、韓国は無事なりと言うて欺いて居ります。

以上の原因により伊藤さんを殺しました。